おたり森林情報かわら版

小谷村役場 観光地域振興課

今年度、小谷村保育園の年長のゆり組の子どもたちは、森や木のことを現 地へ行って体験しながら学んでいます。

6月は、キノコの駒打ちや山へ行ってイタヤカエデの子どもを採ってきて 苗木作り、そして8月はキハダを剥ぎました。

小谷村保育園ゆり組、キハダを剥ぐ



8月1日(火)、子どもたちは、 マイクロバスに乗って中谷と土谷と の峠へ向かいました。

初めてのキハダ剥ぎ、みんな楽しみにしていた、と担任の宮澤牧先生から聞きました。

やってみたら、みんな大喜び。

何度も何度も剥ぎたい子、剥がされた材をペロリと舐めて「にがーい」と渋顔の子、みんなで楽しく過ごしました。一人の子の言葉が物語っています。

「きょうは、最高の日だ!」





チェンソーでキハダを伐倒する様子を見ていた男の子全員が、「将来自分もチェン ソーを使えるようになりたい」との感想を漏らしていたそうです。 剥いだばかりのキハダの皮を煮詰めて、その場で草木染も行いました。

子どもたちは、伐採現場で切り株に座ってみたり何かを探してみたりと、自ら楽しみを見つけて遊んでいました。

認定こども園である小谷村保育園ですが、キハダの皮剥ぎや 草木染は、小谷村であるからこそできる取組でした。 次号予告 ナラ枯れってなぜ起きるの?